

校種・教科等	高等学校公民 政治経済	受審番号		氏名	
--------	----------------	------	--	----	--

『公民科（政治経済）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 2年1組教室
 (3) 学年・学級 第2学年1組(35名) 使用教科書『高等学校 新公共』(第一学習社)

(4) 単元名

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

・中学校社会科での学習に加え、1年次「家庭基礎」において、生涯の生活設計、自助、共助及び公助について学習しており、用語などの基本的事項は一定理解している。

【単元のねらい】

・幸福、正義、公正などに着目して、法、政治及び経済などの側面を関連させ、持続可能な財政及び人口減少社会における持続可能な社会保障制度の在り方についての課題解決に向けて、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

【生徒の状況】

・授業者の話をよく聴き、授業態度も良く、定期考査では基本的・基礎的な事項・事柄を問う問題の正答率が高い。
 ・主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などを多面的・多角的に考察したり、表現したりする力がまだ十分に育成されていない。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	【財政及び租税の役割】 ・財政及び租税の役割について、理解する。 ・国債発行の増大や国民間の所得格差拡大の背景を理解する。	一斉 個別 グループ	知識・技能 (資料の読み取り)
	・所得税と消費税はどちらがより公平な税か、考察し、表現する。 教科書P149 (本時)	個別 グループ	思考・判断・表現
第二次 (2時間)	【少子高齢社会における社会保障の充実・安定化】 ・人口減少社会の影響、日本の社会保障制度の現状と課題について理解する。	一斉 個別	知識・技能 (資料の読み取り)
	・社会保障の目的、社会保障制度のしくみを理解する。	個別 グループ	知識・技能 (資料の読み取り)
第三次 (1時間)	【持続可能な社会保障制度】 ・高福祉・高負担か、低福祉・低負担かの視点から、適切な給付と負担のバランスについて、考察し、表現する。	個別 グループ 一斉	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校公民 政治経済	受審番号		氏名	
--------	----------------	------	--	----	--

『公民科（政治経済）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 2年1組教室
 (3) 学年・学級 第2学年1組(35名) 使用教科書『高等学校 新公共』(第一学習社)

(4) 単元名

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

・中学校社会科での学習に加え、1年次「家庭基礎」において、生涯の生活設計、自助、共助及び公助について学習しており、用語などの基本的事項は一定理解している。

【単元のねらい】

・幸福、正義、公正などに着目して、法、政治及び経済などの側面を関連させ、持続可能な財政及び人口減少社会における持続可能な社会保障制度の在り方についての課題解決に向けて、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。

【生徒の状況】

・授業者の話をよく聴き、授業態度も良く、定期考査では基本的・基礎的な事項・事柄を問う問題の正答率が高い。
 ・主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などを多面的・多角的に考察したり、表現したりする力がまだ十分に育成されていない。

(6) 指導計画(全5時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間)	【財政及び租税の役割】 ・財政及び租税の役割について、理解する。 ・国債発行の増大や国民間の所得格差拡大の背景を理解する。	一斉 個別 グループ	知識・技能 (資料の読み取り)
	・所得税と消費税はどちらがより公平な税か、考察し、表現する。	個別 グループ	思考・判断・表現
第二次 (2時間)	【少子高齢社会における社会保障の充実・安定化】 ・人口減少社会の影響、日本の社会保障制度の現状と課題について理解する。	一斉 個別	知識・技能 (資料の読み取り)
	・社会保障の目的、社会保障制度のしくみを理解する。	個別 グループ	知識・技能 (資料の読み取り)
第三次 (1時間)	【持続可能な社会保障制度】 ・高福祉・高負担か、低福祉・低負担かの視点から、適切な給付と負担のバランスについて、考察し、表現する。 教科書P156～157 (本時)	個別 グループ 一斉	思考・判断・表現 主体的に学習に取り 組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校 公民(倫理)	受審番号		氏名	
--------	----------------	------	--	----	--

『公民科(倫理)』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年〇月〇日 第〇校時(分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(35名)

使用教科書 高等学校 公共(教育図書)

(4) 単 元 名 公共的な空間を作る私たち

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

中学校社会科の学習に加え、1年次には「地理総合」「歴史総合」を履修し、基本的事項については一定理解している。

【単元のねらい】

公共的な空間と人との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と釈迦の多様性と共通性などに着目して、社会に参加する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方生き方を探求する活動を通して、次の事項を身に付ける。

- ・人間としての在り方生き方について、また、人間は社会的な存在であること、自らの価値を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることを理解する。自分自身が、自主的によりよい公共的空間を作り出し、自立した主体となることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。
- ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員としていき、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。

【児童(生徒)の状況】

- ・授業者の話をよく聴き授業態度も良く、定期考査では、基礎・基本的な事項・事柄を問う問題の正答率が高い。
- ・主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などを多面的・多角的に考察したり、表現したりする力がまだ十分育成されていない。
- ・先哲の思想を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について自己の課題を結び付けて考えることにあまり慣れていない。

(6) 指導計画(全7時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (6時間)	【人間はポリスの動物である】 ・人間とは何か、自分はどのような存在か、理解する。 ・公共的空間について、資料を読み取る。	一斉 個別	知識・技能
	【人間は間柄的存在である】 ・「交換」による人と人とのつながりについて理解する	一斉 グループ	知識・技能
	【自由と正義の実現目指して】 ・理想の社会の在り方(ヘーゲル、アダム＝スミス、ロールズ、サンデル)について、他者の考えを取り入れ、自分の考えをまとめる。	ジグソー	思考力・判断力・表現力
	【対話から生まれる公共】 ・自由と正義の実現のために必要なものは何か、考える。 ・「対話は必要か、否か」ディベートの形で両者の意見をまとめる。	ペア ディベート	思考力・判断力・表現力
	【日本の公共思想①】 ・日本における公共圏について、西洋との違いについて考察する。 ・公(おおやけ)とパブリックの違いを考え、スライドにまとめる。	一斉 グループ	思考力・判断力・表現力
【日本の公共思想②】 ・明治維新と公共思想(幕末～自由民権運動)、柳田国男の民俗学について、歴史的背景をもとに理解する。教科書 p14(24行目)～15(1時間:本時)	一斉 ペア	知識・技能	
第二次 (1時間)	【単元の振り返り】 ・異なる意見や対立する立場を対話によって理解し、乗り越え、ともに社会を造っていくために、必要な心構えや仕組みについて、考えをまとめる。	個別	主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。